

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	三重県南勢志摩地域活性化局			代表者名	梅村 和弘
担当者部署	地域活性化防災室			連絡先電話番号	0596-27-5115
担当者役職	主事	担当者氏名	押越 祐樹	連絡先E-mail	
住所	516-8566 三重県伊勢市勢田町628番地2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	・業務のICT化について、なぜ必要なのかというそもそも論の部分から説明をしていただき、意識改革の必要性にも気が付かされた。 ・活性化局として想定していたオンラインセミナーよりもより効率の良い方法を提案していただき、新たな手法を取り入れることができた。 ・ICT化にあたって苦労した点などを具体的にご説明いただき、より詳細にイメージをつかむことができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2020年6月22日	15時00分	16時00分		60
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	☒ 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	南勢志摩地域活性化局職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	オンライン会議のシステムを用いて外部と通信することが初めてのため、当日トラブルなく通信を行うためにテストを行う。 併せて、当日の流れなどについても打ち合わせを行う。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・システムをスムーズに活用できるよう操作方法の習熟。 ・当日の進行が滞りなく行えるように流れの確認。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	以下の4点についての説明と、セミナー当日の流れの確認 ・森町において業務のICT化を進めた理由 ・クラウド化のメリット ・ICT化にあたって役場内で生じた困難と、その対応など ・他の市町村がICT化に取り組む場合の考え方	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	・これまで知識の乏しかった、テレワークの推進を含む業務のICT化に関する考え方の一例を知ることができた。 ・” Slido ” 等、今まで使用したことのないオンラインセミナーのツールについて、効率的な活用法などを新たに知ることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容（具体的にご記入ください）	次回6月29日（月）がセミナー当日になります。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	今回はセミナーでないためアンケート等は行っていません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

